

## 平成 28 年（2016 年）の十和田の火山活動

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

## ○ 噴火警報・予報の状況、2016 年の発表履歴

2016 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

## ○ 2016 年の活動概況

## ・ 噴気などの表面現象の状況（図 1～6）

6 月 15 日に実施した現地調査では、噴気及び地熱域は認められませんでした。

10 月 11 日に青森県の協力により実施した上空からの観測では、噴気及び地熱域は認められませんでした。

12 月 1 日に運用を開始した銀山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

## ・ 地震や微動の発生状況（図 7、図 8）

7 月 22 日から 23 日にかけて、十和田湖の<sup>なかのうみ</sup>中湖付近の深さ 5 km を震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、その他の期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。



図 1 十和田 中湖周辺の状況（12 月 3 日）

・ 銀山（中湖の北西約 6 km）に設置している監視カメラの映像です。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータの他、弘前大学、東北大学、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

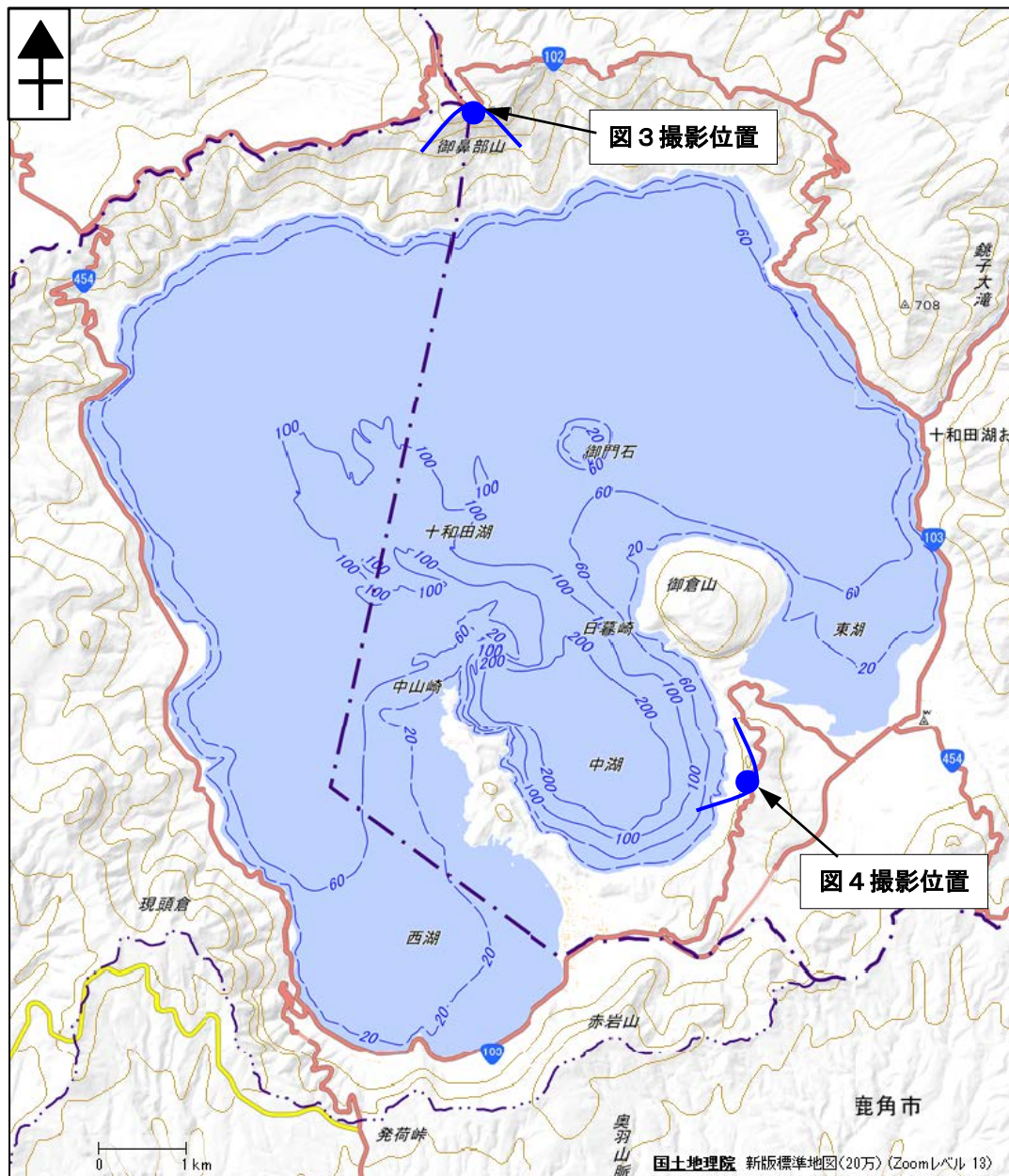


図2 十和田 写真及び地表面温度分布<sup>1)</sup> 撮影方向

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

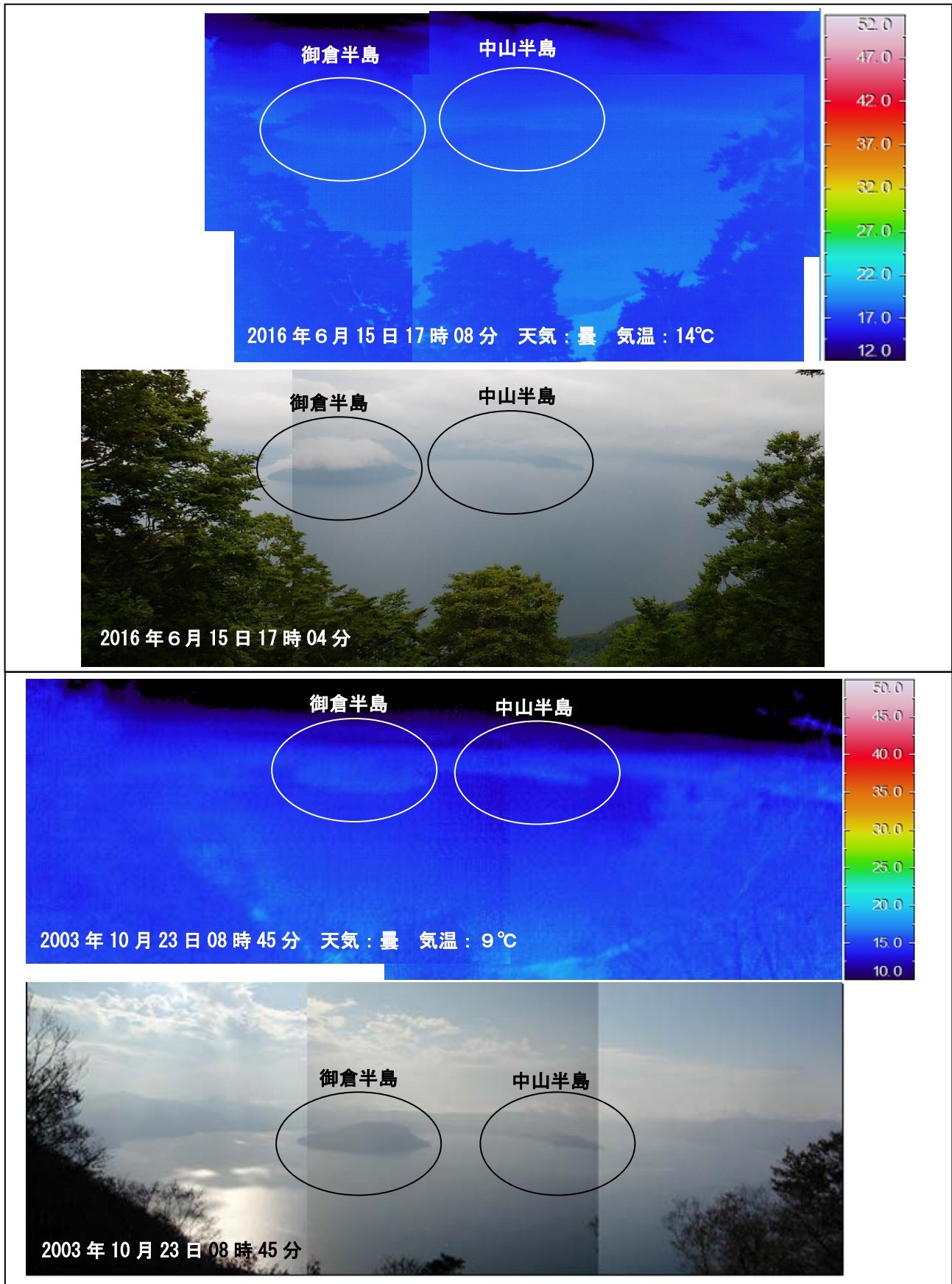


図3 十和田 北から撮影した十和田の状況と地表面温度分布  
・噴気及び地熱域は認められませんでした。



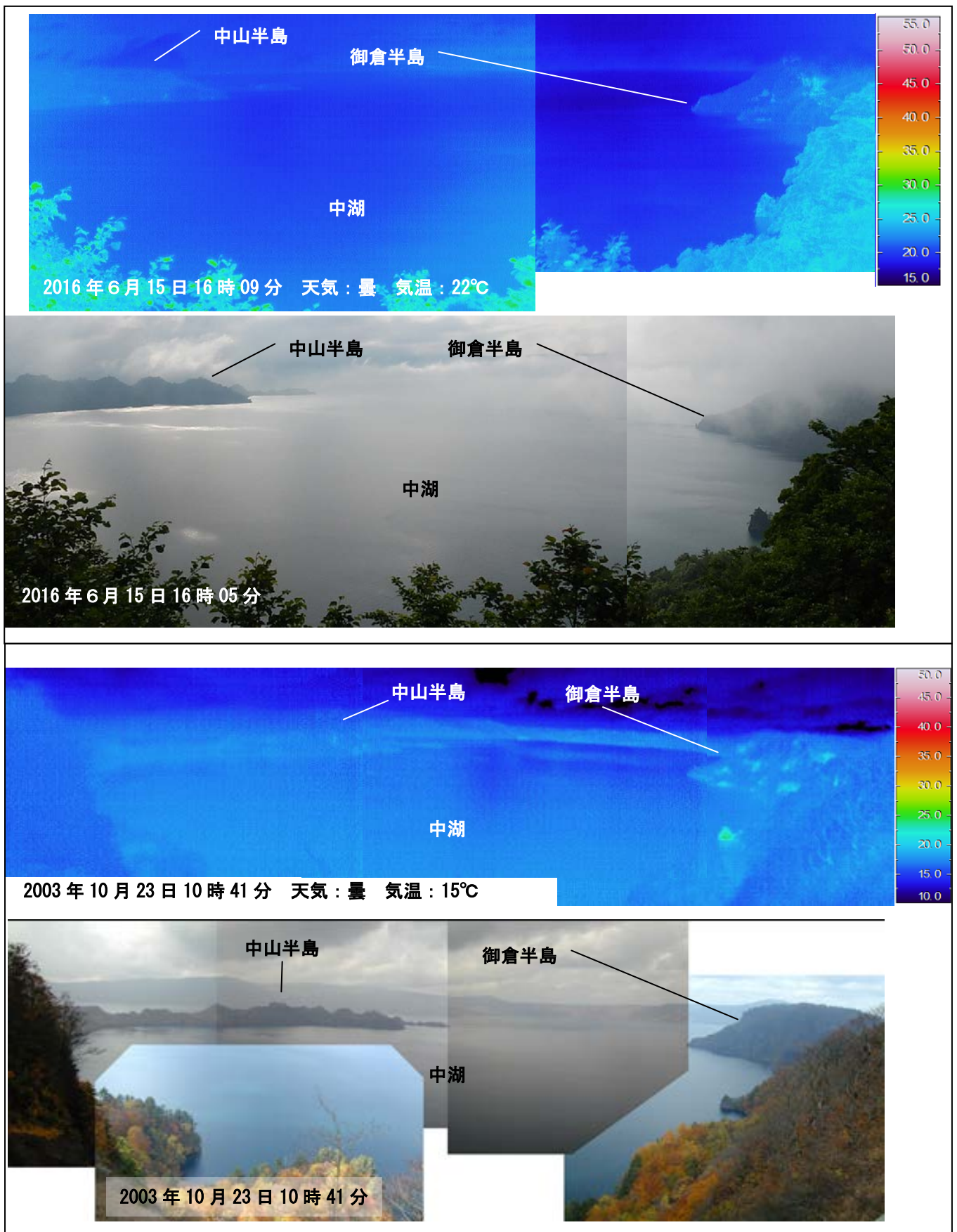


図4 十和田 南東から撮影した中湖付近の状況と地表面温度分布

- ・噴気及び地熱域は認められませんでした。
- ・やや温度の高い領域は日射による影響です。

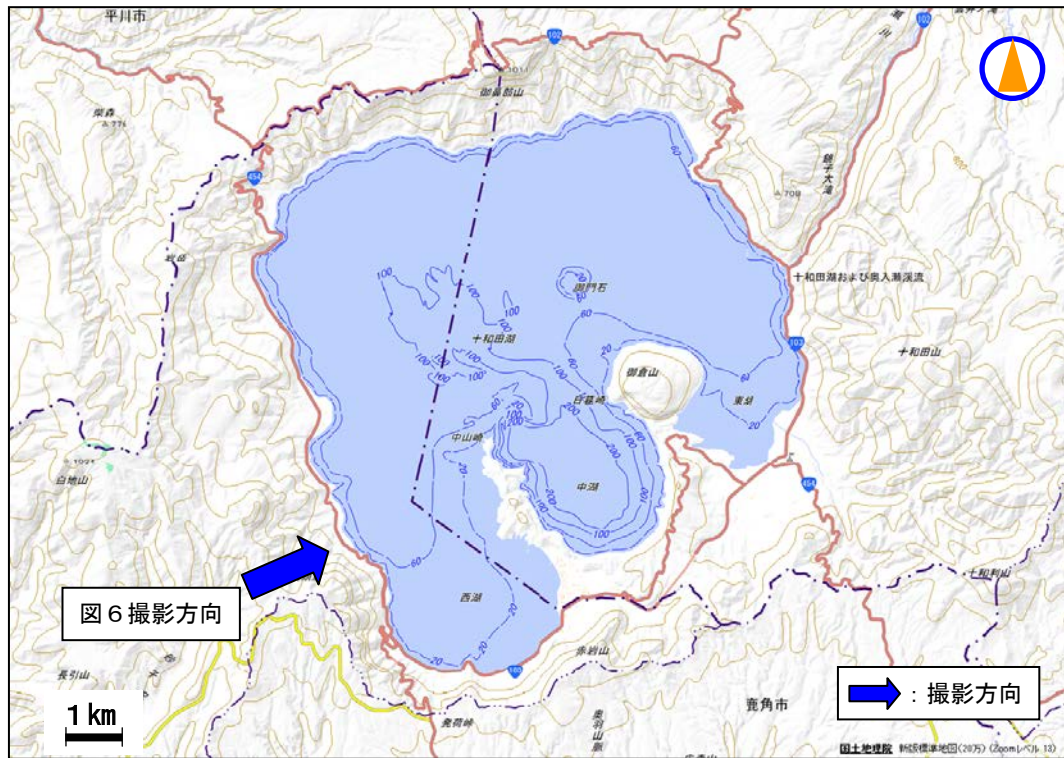


図5 十和田 上空からの御倉山と中湖の写真及び地表面温度分布撮影方向

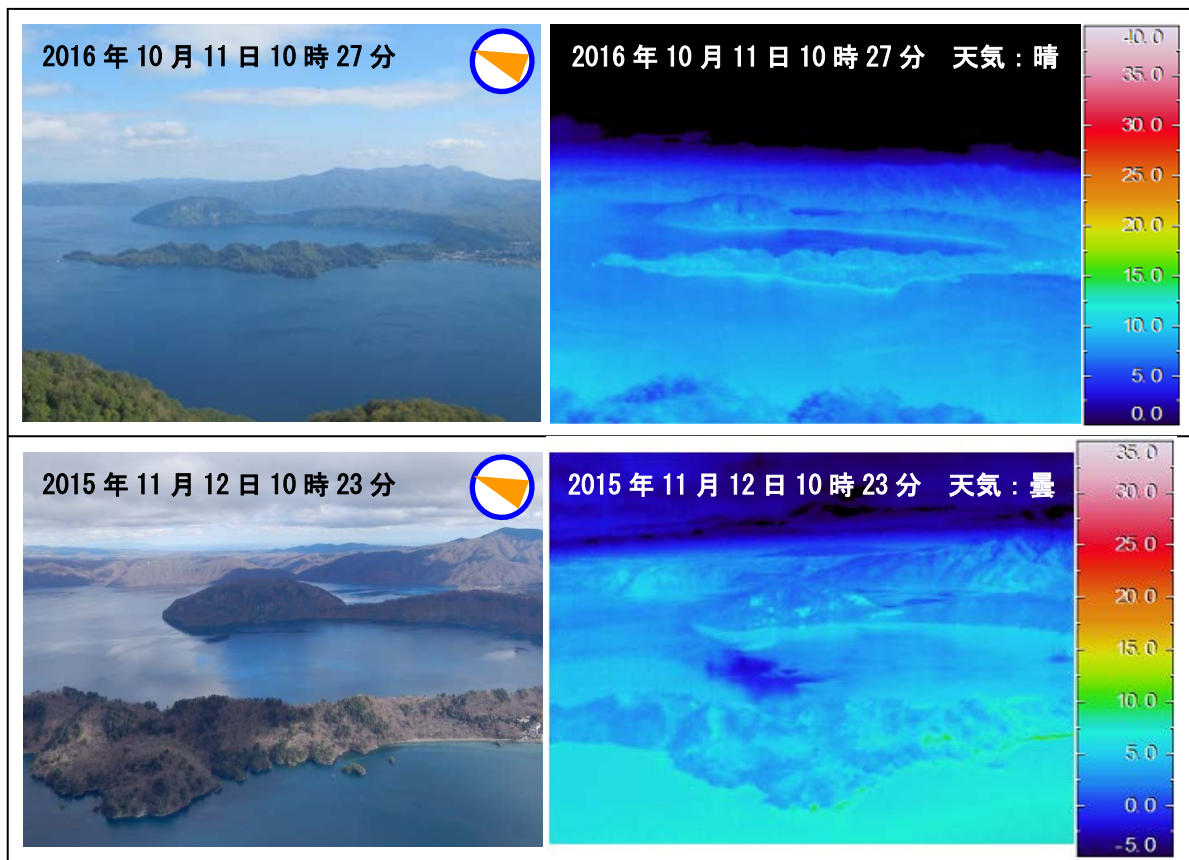


図6 十和田 上空から撮影した御倉山及び中湖の状況と地表面温度分布

- ・前回（2015年11月12日）と同様、噴気及び地熱域は認められませんでした。
- ・やや温度の高い領域は日射による影響と考えられます。



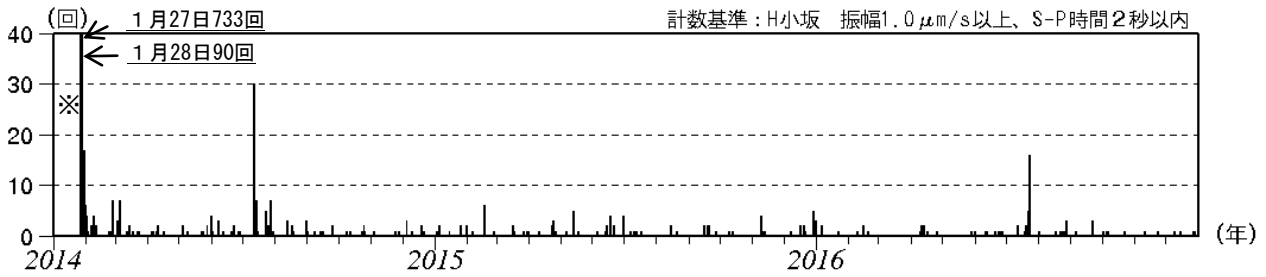


図7 十和田 日別地震回数 (2014年1月～2016年12月)

- ・ 7月22日から23日にかけて、火山性地震が一時的に増加しました。
- ※2014年1月27日より計数を開始しました。

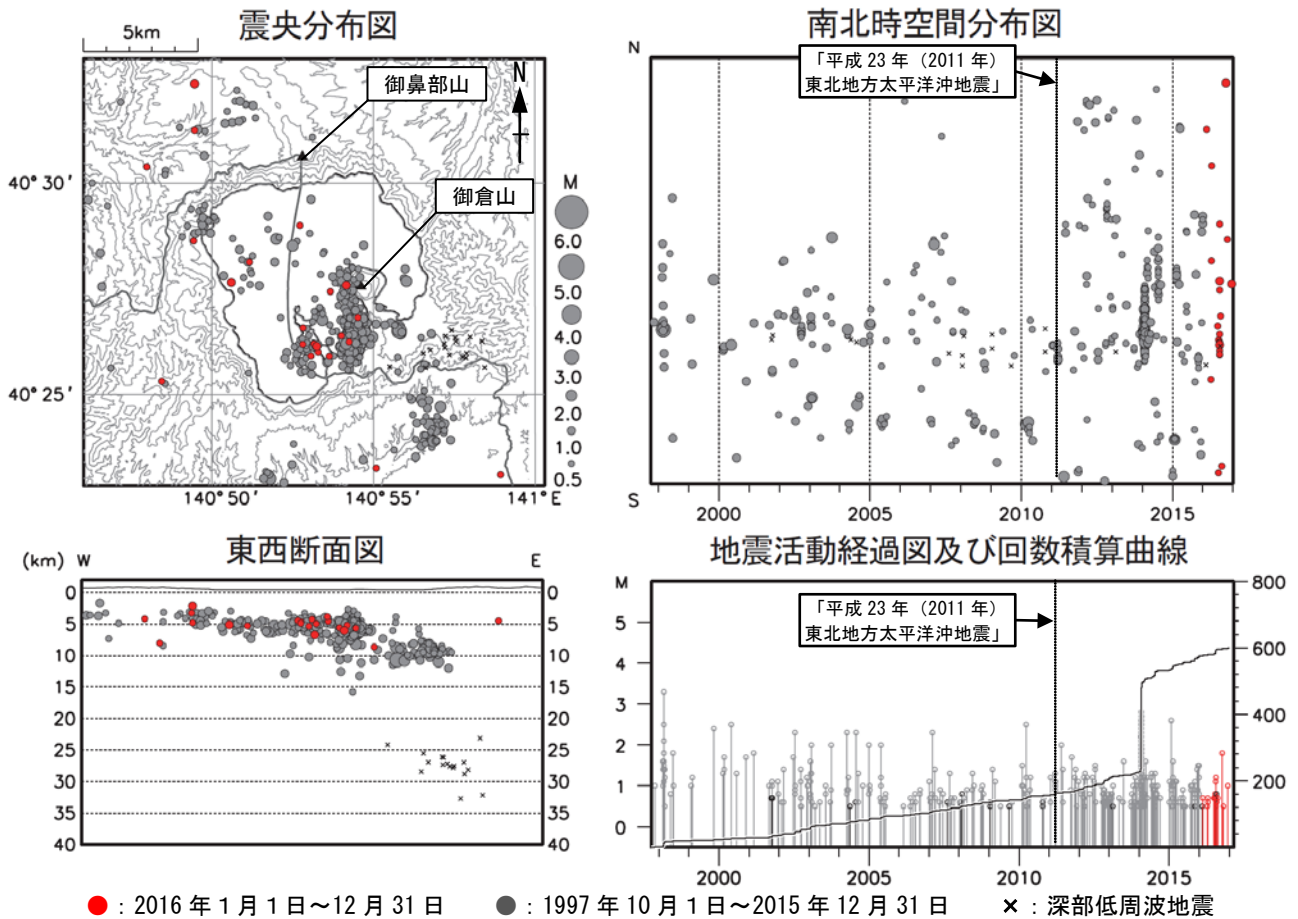


図8 十和田 広域地震観測網による十和田周辺の地震活動図 (1997年10月～2016年12月)

- ・ 7月22日から23日にかけて、火山性地震が一時的に増加しました。震源は、中湖付近の深さ約5kmでした。
- ・ 2001年10月以降、検知能力が向上しています。
- ・ 深部低周波地震については、1999年9月から識別して登録を開始しました。
- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を示します。資料中の値は暫定値が含まれますので、後日変更することがあります。

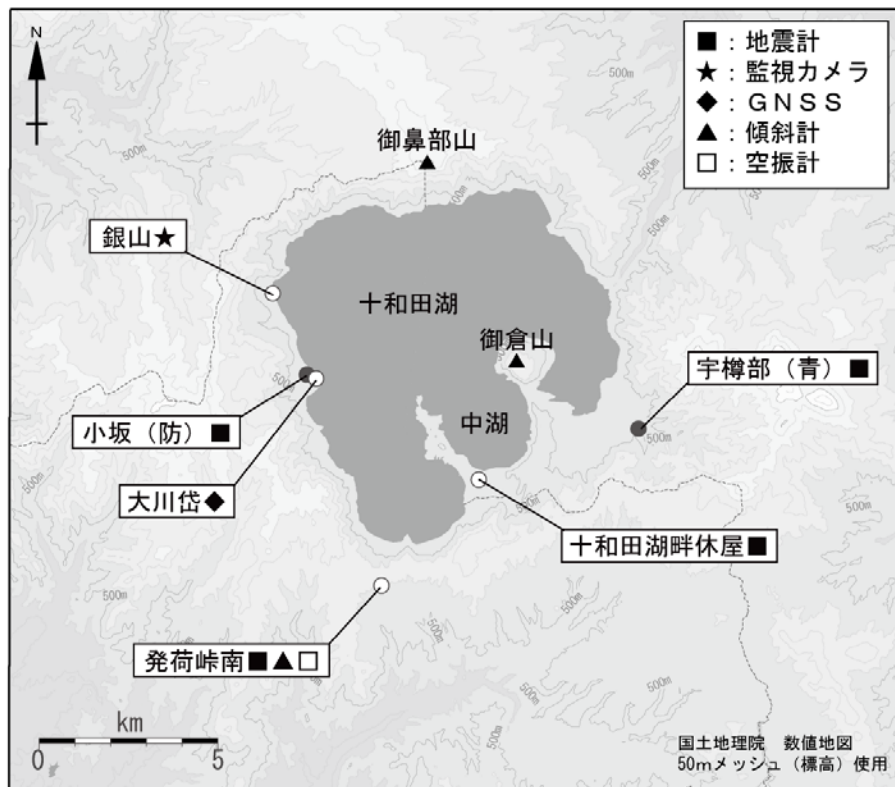


図 9 十和田 観測点配置図

- ・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
- (国) : 国土地理院 (青) : 青森県 (防) : 防災科学技術研究所

表 1 十和田 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	発荷峠南	40° 24.14'	140° 51.87'	599	-82	2016.12.1	短周期 3成分 ポアホール型
	十和田湖畔休屋	40° 25.76'	140° 53.84'	409	-2	2016.12.1	広帯域 3成分
空振計	発荷峠南	40° 24.1'	140° 51.9'	599	5	2016.12.1	
傾斜計	発荷峠南	40° 24.1'	140° 51.9'	599	-83	2016.12.1	
GNSS	大川岱	40° 27.3'	140° 50.6'	406	4	2016.12.1	2周波
監視カメラ	銀山	40° 28.6'	140° 49.7'	405	5	2016.12.1	